

4月18日に、本校3年生127名を対象に実施された「全国学力調査」について、結果を報告します。本調査は、国語・数学の2教科のテストと同時に家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されており、生活習慣と学力との関係など、本校の子どもたちの状況をお伝えします。

総合結果（国語・数学）

どの教科も全て全国平均を上回っています。特に国語科 B 問題において優秀な結果が出ています。一方で、無回答率が昨年度よりも増加する結果となりました。生徒が問題に向き合い、最後まであきらめないで取り組もうとする姿勢を育てていきたいと思えます。

国語科より

A問題B問題共に、全国平均及び京都府平均とあまり変わりません。

観点別に見てみると、観点Ⅲ【書くこと】が5～7ポイント上回る結果になりました。その反面観点Ⅳ【読むこと】は苦手な傾向にあるようです。

総合的に考えると、自分の思いや考えを表現することは得意だが、他人の意見から読み取ることが苦手だと考えられます。そのためには、読書などに親しみ、疑似体験を通して自分以外の考え方を知り、幅を広げていってほしいと思えます。授業だけでなく、普段の生活から良い文章に触れる機会を増やしていきましょう！

- 新聞を読もう！
- 読書に親しもう！
- 分からない言葉は調べよう！



数学科より

A問題では、全36問中22問で全国正答率を上回っていました。さらに、B問題では、全15問中10問で全国正答率を上回っていました。

正答率が低い問題を見てみると、A問題では、1年生で学習した『比例・反比例』の単元での「関数の意味理解」「比例のグラフから式を求める問題」、『資料の活用』の単元での「範囲の意味理解」「度数分布表についての問題」ができていない点が挙げられます。

基本的な問題を繰り返し学習していくことと同時に、それぞれの用語の意味を理解した上で問題に取り組むようにする必要があります。公式や用語を暗記するだけでは問題を解くときに役に立ちません。

「なぜこの方法で解けるのか」「この用語の意味は何なのか」を理解しながら学習して下さい。

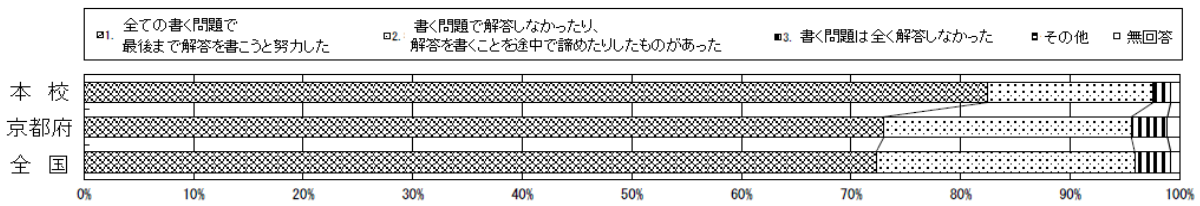
また、B問題では、正答率が30%を切っている問題4問全てが、説明する問題です。【文章を書いて説明すること】、【自らの言葉で説明すること】を意識しましょう。

- 問題の意味を考えよう！
- 自分の言葉で説明しよう！

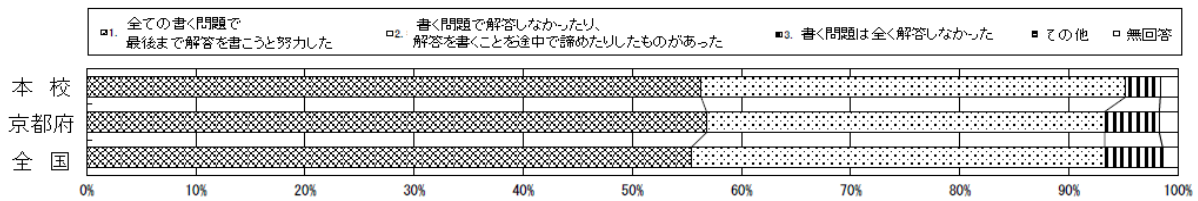


生徒質問紙から ①

今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか



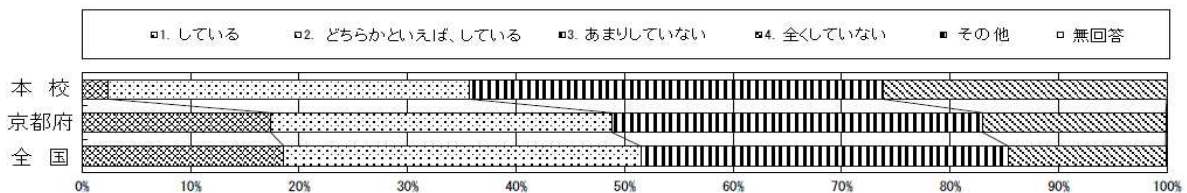
今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか



課題に対して、主体的にあきらめずに学習しようとする姿勢が身につけている生徒が増えました。また、これまでの課題であった表現に対する苦手意識も少しずつなくなってきました。今後も自分の考えを他の人に伝わるように文章にまとめたり、説明したりする学習を通してさらに表現力を伸ばして行ってほしいと思います。

生徒質問紙から ②

家で、自分で計画を立てて勉強していますか



家庭学習の習慣が十分についていないようです。各教科で宿題を出すことやその内容も取り組みたくなるような課題を設定することで、家庭学習の習慣をつけ、次に自分で計画を立てて実行する力をつけさせたいと思います。家庭学習は30分でも1時間でも、その積み重ねが大切です。意識して取り組んでいきましょう。

保護者の皆様へ

全国調査は子どもたちの学習状況を知り、子どもたちの可能性を更に伸ばしたり、課題を解決していくためのものです。結果が学力の全てを表しているのではなく、順位を競うものでもありません。

学力は、学校・家庭・地域での地道な積み重ねにより定着していくものであり、望ましい生活習慣や日々の学習習慣がその基盤となります。今回の本校の結果を見ると、これまでの調査と比べて力は着実に伸びてきており、ご家庭での子どもに対する積極的な関わりや指導・支援の成果が表れています。引き続き、子どもたちの健やかな育ちと学びの環境づくりにご協力をお願いいたします。

